

## II.事例編

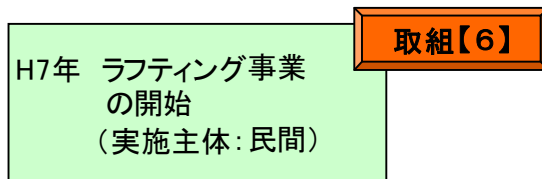
## ○事例編の活用方法

先進的に取り組んでいる地域と自らの地域を比較することで、観光地づくりに必要な取組やその流れを具体的に把握することができます。

また、今回取り上げた16地域のフロー図において、以下の点を参考にすることで、実際に取り組む際のポイントを事例に沿って確認することができます。

- ① 各取組の解説において「参考事例」として紹介した取組を、16地域のフロー図の中で確認できるように、該当する地域のフロー図に「取組No.」を付して示しています。

<フロー図における例>

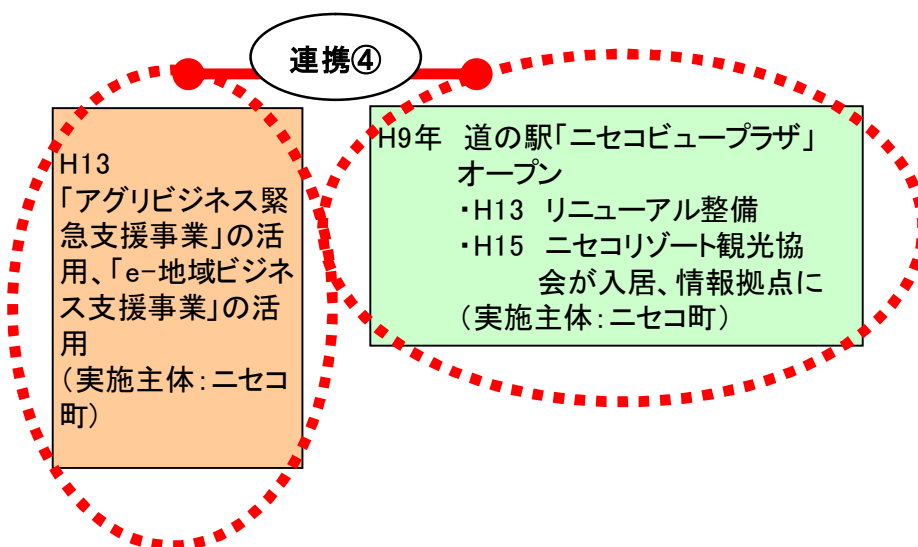


※ 「取組【6】観光資源を体験するプログラムの発掘・実施」において「参考事例」として、ラフティング事業が紹介されています。

※ 取組No.の色は、「1.魅力ある観光地域づくり推進のための主な取組の連携図」の色に合わせています。

- ② 「4.魅力ある観光地域づくり推進のための効果的な取組連携の考え方」において紹介した連携パターンが、特徴的に表れている箇所を赤い点線で示してあります。

<フロー図における例>



※ 「4.魅力ある観光地域づくり推進のための効果的な取組連携の考え方」の「連携④ 各取組への支援制度の効果的活用」で解説されている連携を特徴的に示している箇所となっています。

- ③ 各地域のフロー図において、表には出てこないが重要な役割を果たしていると考えられる要因を、「取組や連携につながった地域ならではの動き」として取り上げています。

<フロー図における例>



※概要は次頁の「取組や連携につながった地域ならではの動きの解説」を参考にして下さい。

上記の点が反映されている箇所を、下表のとおり16地域ごとにまとめましたので、参考にして下さい。

※取組No.と取組名、連携No.と連携名は【別表】を参照して下さい。

フロー図	取組No. (参考事例で紹介した取組)	連携No.	「取組や連携につながった 地域ならではの動き」の解説
01-ニセコ	【6】【10】	④	—
02-富良野・美瑛	【14】【18】	⑥	ドラマ(北の国から)のロケ地としての知名度やロケセットなどの資源を観光資源として効果的に活用した。
03-遠野	【13】【15】【16】【19】	⑤	地域住民がコミュニティ活性化や農村環境改善などの地域づくりの活動に自発的、積極的に取り組んだ。
04-角館	【1】【10】【11】【13】 【14】【20】	④⑥	市町村合併の後、商工会が主体となって旧市町をつなぐモニターツアーなどの取組を行った。
04-田沢湖	【15】	—	体験型の教育旅行を受け入れるにあたって、それまで行っていたスキー修学旅行で培ったノウハウが活用できた。
05-小野川温泉	【3】【15】【17】【20】	①⑥	地域の生活や文化を知ることにより、ハード整備に頼らない魅力ある温泉地づくりに事業者主体で取り組んだ。
06-酒田	【7】【11】	④	舞台となったテレビドラマ(おしん)がアジア圏で再放送され、人気が出たことが、外国人観光客増加の一要因となった。
07-会津若松	【8】【9】【10】【18】 【20】	②⑥	地域の老舗店舗の主人や、建物所有者による啓発活動など、地域づくりの原動力となる活動があった。
07-喜多方	【11】【12】【13】	⑥	大学の研究室がフィールドとして地域に入ってまちづくりに取り組み、研究成果を地域内外に発信したことで意識啓発が進んだ。
08-大内宿	【20】	—	—
09-館山・南房総	【1】【5】【6】【9】【13】 【15】【21】	④	—
10-富士河口湖	【2】【4】【7】【12】【14】 【17】	②③⑤⑥	行政首長の強力な指導力と実行力により、当初のコンセプトがぶれることなく観光地域づくりが推進された。
11-高野山	【4】【6】【8】【11】【16】 【17】	③④	地域を含む一帯が「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産に登録されたことが取組を後押しした。
12-熊川宿	【16】	—	「街並み」に限定することなく、「まちづくり」の視点を持ったことで、女性メンバーも多数参加した柔軟な活動体制が構築された。
13-内子	【9】【15】【16】【19】	④	—
14-豊後高田	【1】【2】【3】【5】【12】 【20】	①②④	—
15-安心院	【1】【20】	①	“民泊”について地域が独自に活動を進め、行政に働きかけたことで規制緩和につながり、活動をさらに後押しした。
16-黒川温泉	【2】【4】【6】【8】【16】	①④	推進組織の中心メンバーが行動力と問題意識を持った若い世代であったことに加えて、若手にまかせてみようという理解があった。

【別表】

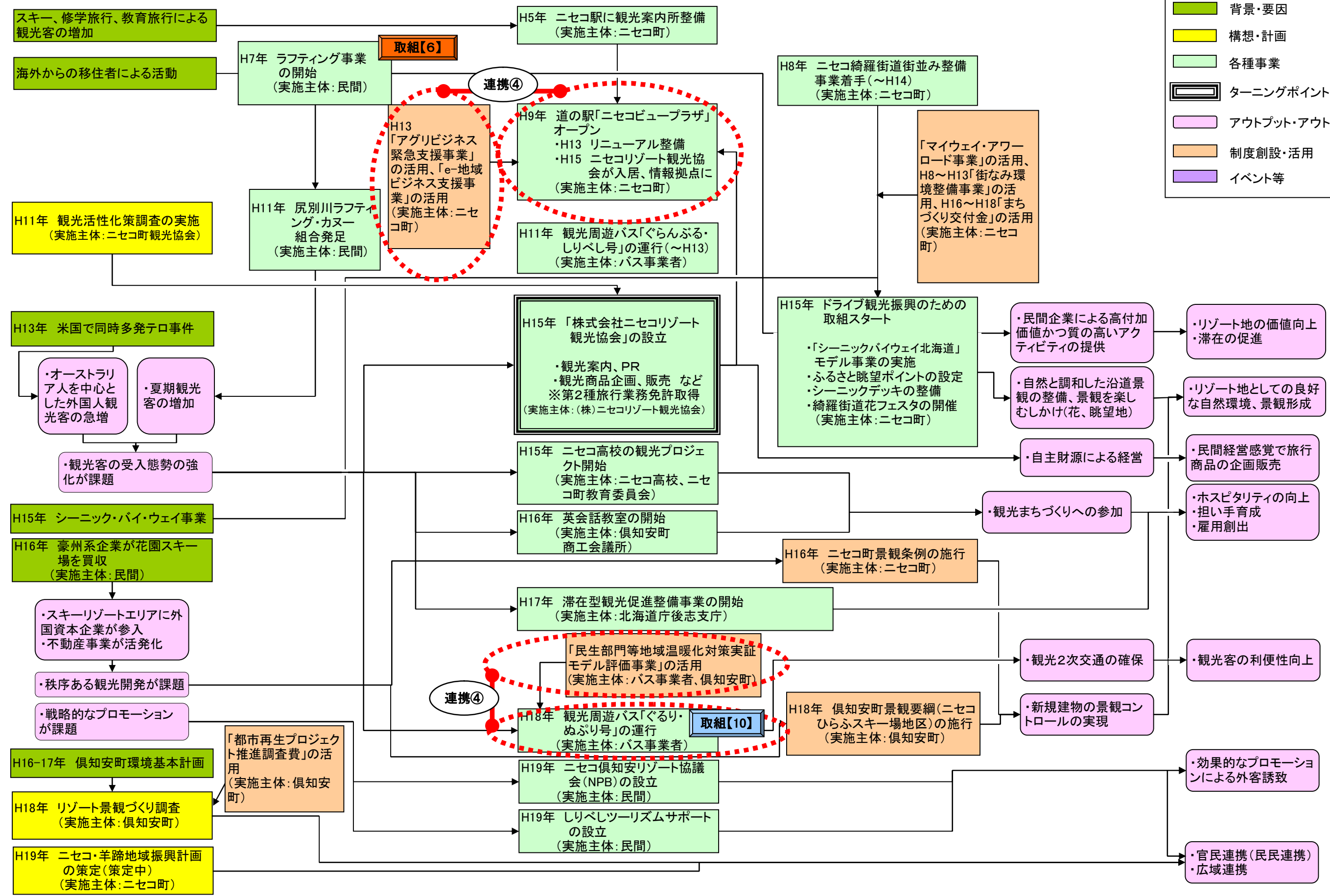
取組名	取組No.
地域現状把握のための調査（P14）	【1】
観光地づくりの基軸となるコンセプトの発見・創出（P16）	【2】
発見・創出されたコンセプトの各種構想・計画への位置づけ（P19）	【3】
環境・景観保全のための条例、協定、制度の策定（P21）	【4】
各種支援制度の効果的活用（P23）	【5】
観光資源を体験するプログラムの発掘・実施（P25）	【6】
観光資源を表現する施設の整備（P28）	【7】
環境・景観の保全、整備（P31）	【8】
観光の立ち寄り、情報拠点となる施設の整備（P33）	【9】
観光客の足となる二次交通手段の整備（P36）	【10】
観光客の移動をサポートする仕組みの導入（P38）	【11】
発見・創出されたコンセプトを表現するイベントの実施（P40）	【12】
観光資源を広めるための広告宣伝活動（P43）	【13】
新たなマーケットに対する取組（P46）	【14】
新しい観光魅力創出への取組（P48）	【15】
地域イメージの維持と形成（P51）	【16】
観光地づくりの財源の確保（P53）	【17】
周辺地域との広域的な連携（P55）	【18】
観光地づくりを担う人材の発掘・育成（P57）	【19】
観光地づくりに関する協議・連携組織の育成（P59）	【20】
観光地としての地域経営を担う組織の設立（P62）	【21】

連携名	連携No.
観光地づくりのコンセプトの発見と位置づけ（P66）	①
各取組へのコンセプトの反映（P67）	②
環境・景観保全のための条例の制定と活用（P68）	③
各取組への支援制度の効果的活用（P69）	④
ハードとソフトの連携による魅力向上（P70）	⑤
各取組と連動した周辺環境の整備（P71）	⑥

【地域のキーポイント】・海外からの移住者によるラフティング事業等の新たな魅力の創出 ・ニセコリゾート観光協会による地域経営 ・外国人受け入れ態勢の強化(高校との連携、英会話教室等)  
 【地域の取組の流れ】・海外からの移住者による新たな取組により、外国人観光客に注目を浴びている。それに伴い地域においても受入体制を整備している。

# 01-ニセコ

- <凡例>
- 背景・要因
  - 構想・計画
  - 各種事業
  - ターニングポイント
  - アウトプット・アウトカム
  - 制度創設・活用
  - イベント等

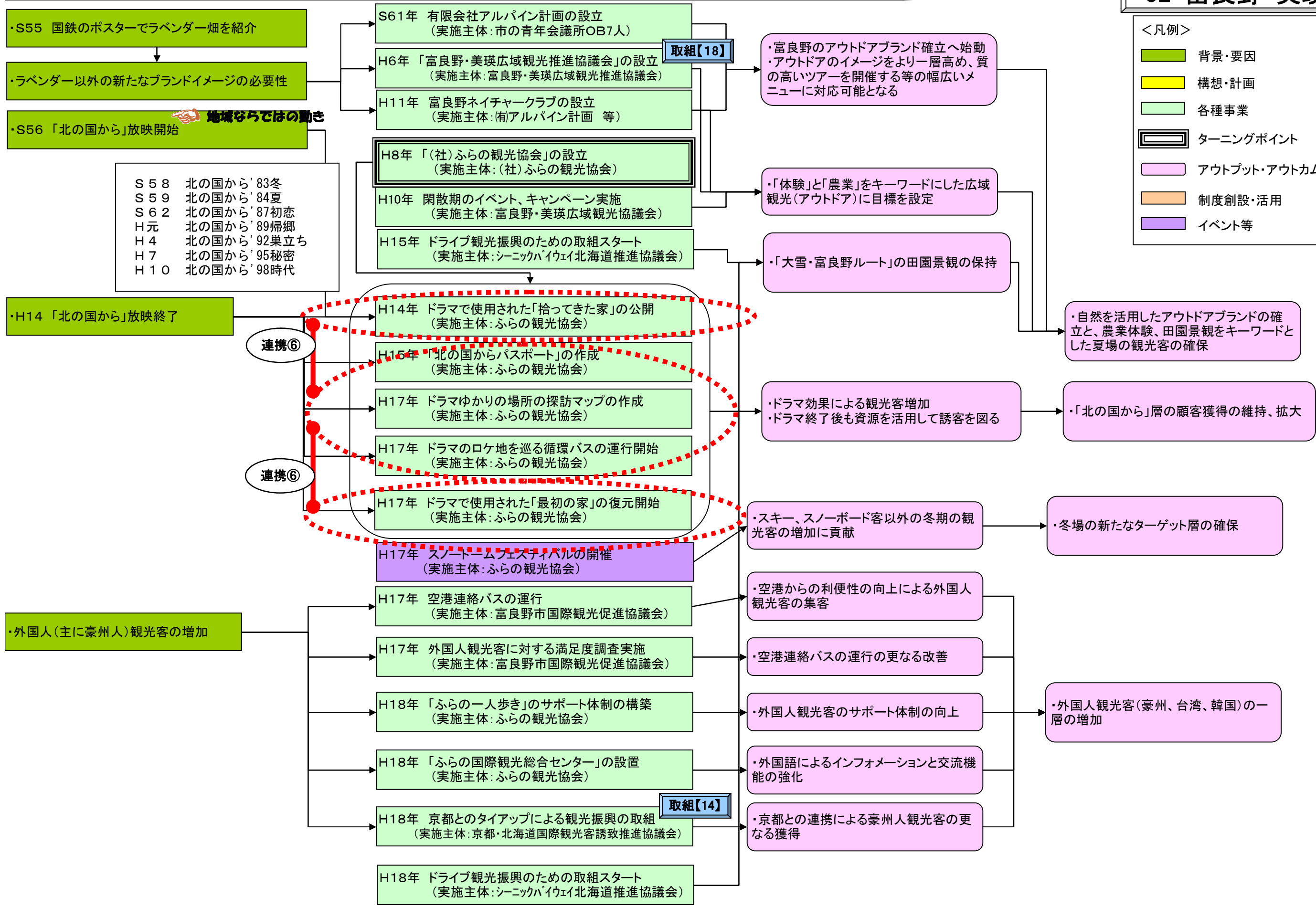


【地域のキーポイント】 ・ドラマ放映を地域資源として効果的に活用 ・ラベンダー以外の新たな観光資源としてアウトドアブランドを確立 ・外国人観光客の受け入れ態勢の強化  
 【地域の取組の流れ】 ・ラベンダー以外の新たな魅力を創出しながらも、ドラマの放映効果を地域の観光資源と捉え、それに基づく施設整備等を実施している。

## 02-富良野・美瑛

<凡例>

- 背景・要因
- 構想・計画
- 各種事業
- ターニングポイント
- アウトプット・アウトカム
- 制度創設・活用
- イベント等



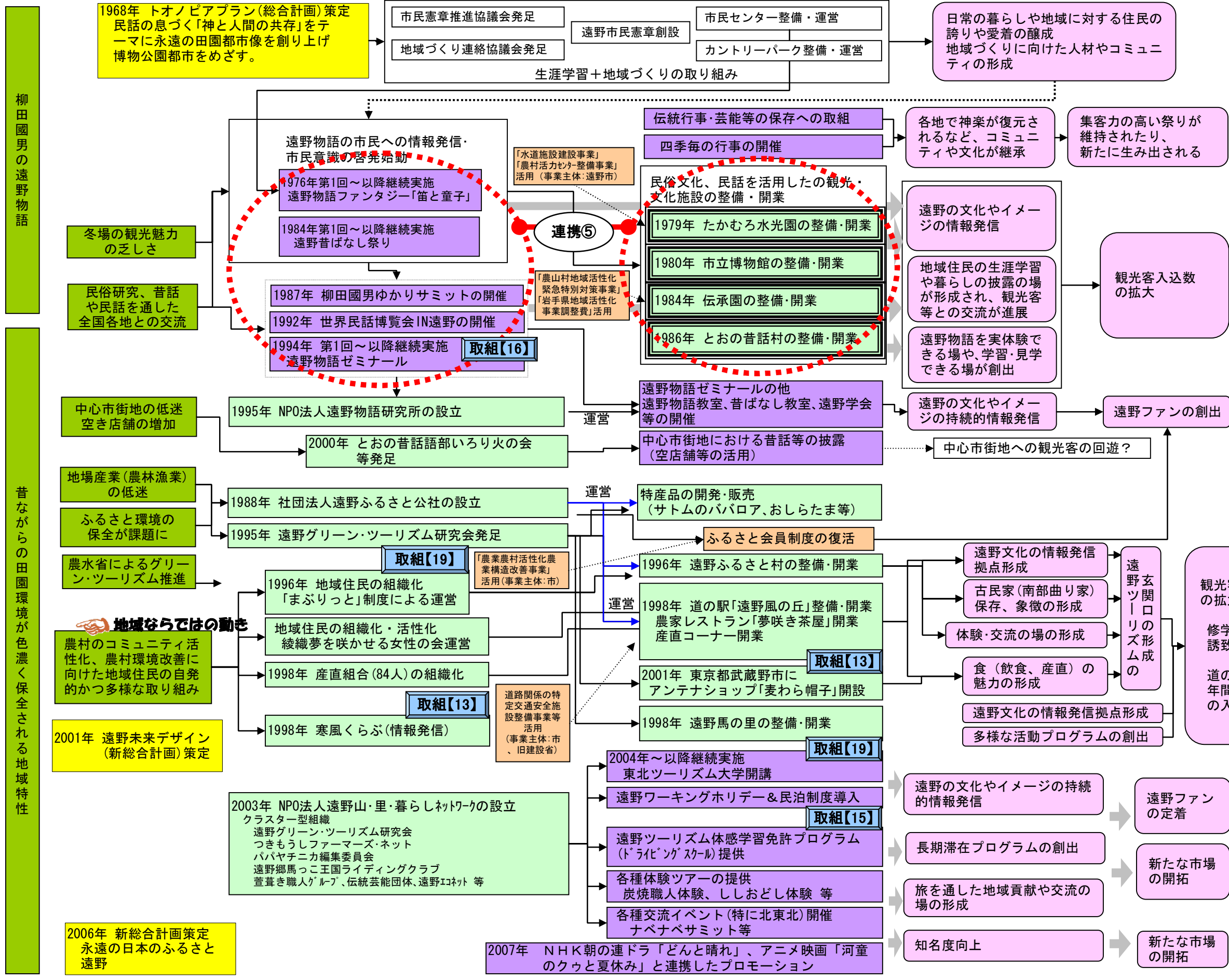


【地域のキーポイント】・地域観光資源的確な把握とその活用 ・統一的な施設整備(ハード)とイベント等(ソフト)の連携 ・各種団体による新たな取組への着手  
 【地域の取組の流れ】・遠野物語という地域資源を的確に把握しながら、施設の整備、各種イベントを実施している。その流れの中で各種団体により新たな観光魅力が創出されている。

# 03-遠野

<凡例>

- 構想・計画
- 各種事業
- アウトプット・アウトカム
- 制度創設・活用
- ターニングポイント
- イベント等
- 背景・要因



柳田國男の遠野物語

昔ながらの田園環境が色濃く保全される地域特性

1968年 トオノピアプラン(総合計画)策定  
 民話の息づく「神と人間の共存」をテーマに永遠の田園都市像を創り上げ  
 博物館都市をめざす。

冬場の観光魅力の乏しさ

民俗研究、昔話や民話を通じた全国各地との交流

中心市街地の低迷  
 空き店舗の増加

地場産業(農林漁業)の低迷

ふるさと環境の保全が課題に

農水省によるグリーン・ツーリズム推進

地域ならではの動き  
 農村のコミュニティ活性化、農村環境改善に向けた地域住民の自発的かつ多様な取り組み

2001年 遠野未来デザイン(新総合計画)策定

2006年 新総合計画策定  
 永遠の日本のふるさと遠野

生涯学習+地域づくりの取り組み

- 市民憲章推進協議会発足
- 遠野市民憲章創設
- 市民センター整備・運営
- 地域づくり連絡協議会発足
- カントリーパーク整備・運営

遠野物語の市民への情報発信・市民意識の啓発始動

- 1976年第1回～以降継続実施 遠野物語ファンタジー「笛と童子」
- 1984年第1回～以降継続実施 遠野昔ばなし祭り

1987年 柳田國男ゆかりサミットの開催

1992年 世界民話博覧会IN遠野の開催

1994年 第1回～以降継続実施 遠野物語ゼミナール

1995年 NPO法人遠野物語研究所の設立

2000年 とおの昔話語部いろいろ火の会等発足

1988年 社団法人遠野ふるさと公社の設立

1995年 遠野グリーン・ツーリズム研究会発足

1996年 地域住民の組織化「まぶりっ」と制度による運営

1998年 産直組合(84人)の組織化

1998年 寒風くらぶ(情報発信)

2003年 NPO法人遠野山・里・暮らしネットワークの設立  
 クラスター型組織  
 遠野グリーン・ツーリズム研究会  
 つきもうしファーマーズ・ネット  
 パパヤチニカ編集委員会  
 遠野郷馬っこ王国ライディングクラブ  
 萱葺き職人グループ、伝統芸能団体、遠野Eネット等

2007年 NHK朝の連ドラ「どんと晴れ」、アニメ映画「河童のクゥと夏休み」と連携したプロモーション

伝統行事・芸能等の保存への取組

- 四季毎の行事の開催
- 民俗文化、民話を活用したの観光・文化施設の整備・開業
- 1979年 たかむろ水光園の整備・開業
- 1980年 市立博物館の整備・開業
- 1984年 伝承園の整備・開業
- 1986年 とおの昔話村の整備・開業

遠野物語ゼミナールの他 遠野物語教室、昔ばなし教室、遠野学会等の開催

中心市街地における昔話等の披露(空き店舗等の活用)

特産品の開発・販売(サトムのパバロア、おしらたま等)

ふるさと会員制度の復活

1996年 遠野ふるさと村の整備・開業

1998年 道の駅「遠野風の丘」整備・開業  
 農家レストラン「夢咲き茶屋」開業  
 産直コーナー開業

2001年 東京都武蔵野市にアンテナショップ「麦わら帽子」開設

1998年 遠野馬の里の整備・開業

2004年～以降継続実施 東北ツーリズム大学開講

遠野ワーキングホリデー&民泊制度導入

遠野ツーリズム体感学習免許プログラム(ドライビングスクール)提供

各種体験ツアーの提供  
 炭焼職人体験、ししおどし体験等  
 各種交流イベント(特に北東北)開催  
 ナベナベサミット等

日常の暮らしや地域に対する住民の誇りや愛着の醸成  
 地域づくりに向けた人材やコミュニティの形成

各地で神楽が復元されるなど、コミュニティや文化が継承

遠野の文化やイメージの情報発信

地域住民の生涯学習や暮らしの披露の場が形成され、観光客等との交流が進展

遠野物語を実体験できる場や、学習・見学できる場が創出

遠野の文化やイメージの持続的発信

遠野文化の情報発信拠点形成

古民家(南部曲り家)保存、象徴の形成

体験・交流の場の形成

食(飲食、産直)の魅力の形成

遠野文化の情報発信拠点形成

遠野の文化やイメージの持続的発信

長期滞在プログラムの創出

知名度向上

観光客入込数の拡大

遠野ファンの創出

遠野玄ツ関りのリズム成の

遠野文化の情報発信拠点形成

遠野ファンの定着

新たな市場の開拓

新たな市場の開拓

観光客入込数の拡大  
 修学旅行等誘致  
 道の駅だけで年間100万人の入り込み

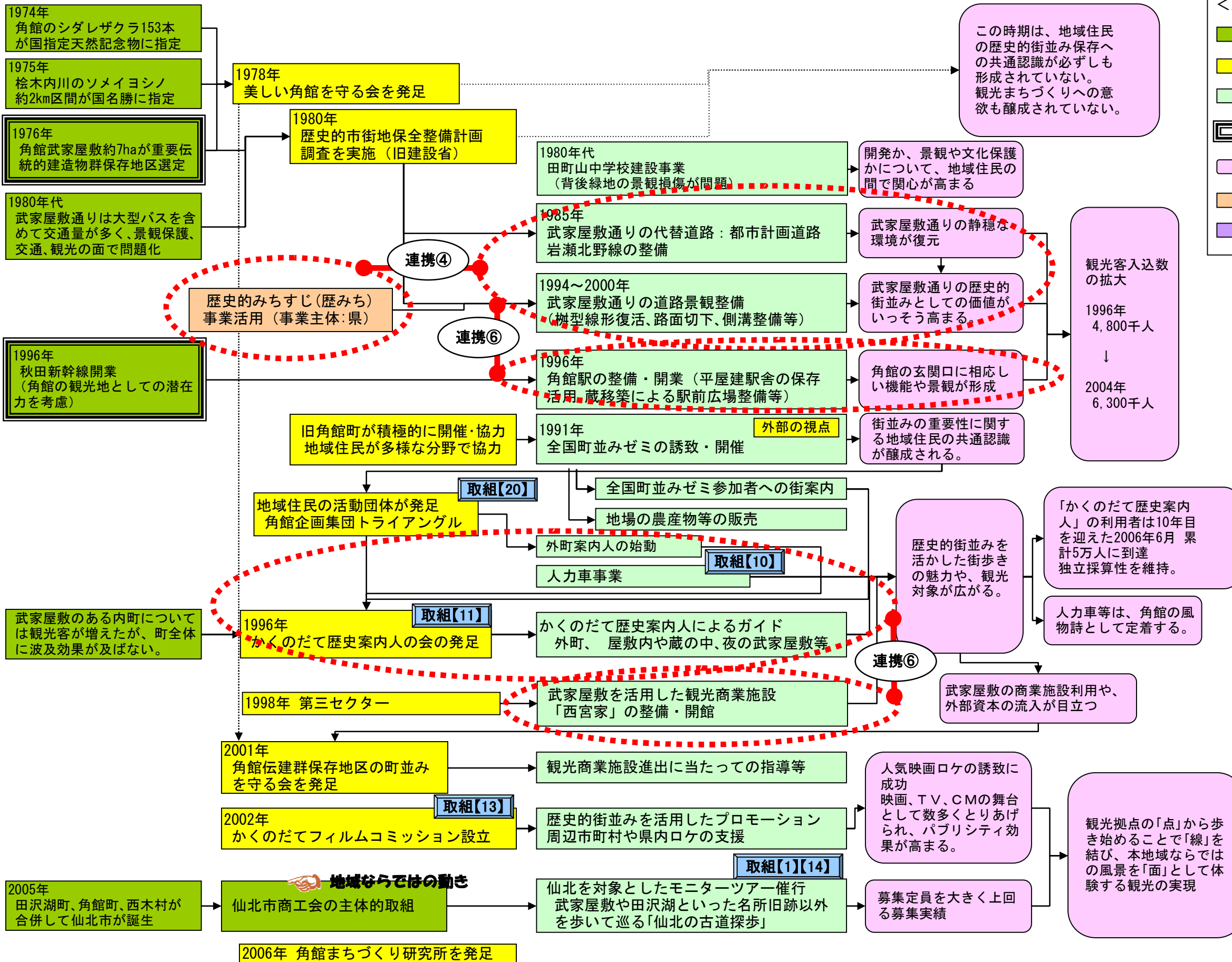


【地域のキーポイント】・地域イメージに合った施設整備 ・地域の活動団体による取組 ・商工会主体のモニターツアーの実施  
 【地域の取組の流れ】・武家屋敷通りの保存・整備と並行して、ガイドの育成等を実施されており、そのことが地域全体の魅力を高めている。

# 04-角館

<凡例>

- 背景・要因
- 構想・計画
- 各種事業
- ターニングポイント
- アウトプット・アウトカム
- 制度創設・活用
- イベント等

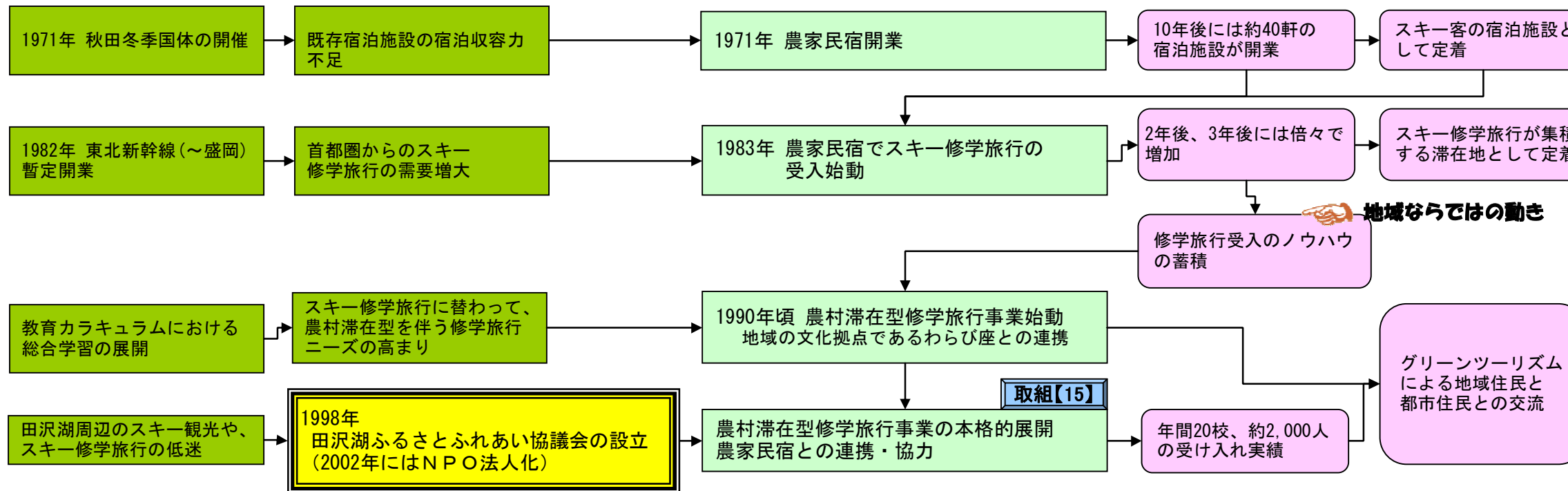


【地域のキーポイント】・修学旅行受入のノウハウを活かした農家民宿の推進 ・NPO法人の取得による各種課題(保険等)の解決  
 【地域の取組の流れ】・スキー観光や修学旅行の低迷の波を、培ってきたノウハウを活かし農家民宿という形で乗り越えている。

## 04-田沢湖

<凡例>

- 背景・要因
- 構想・計画
- 各種事業
- ターニングポイント
- アウトプット・アウトカム
- 制度創設・活用
- イベント等

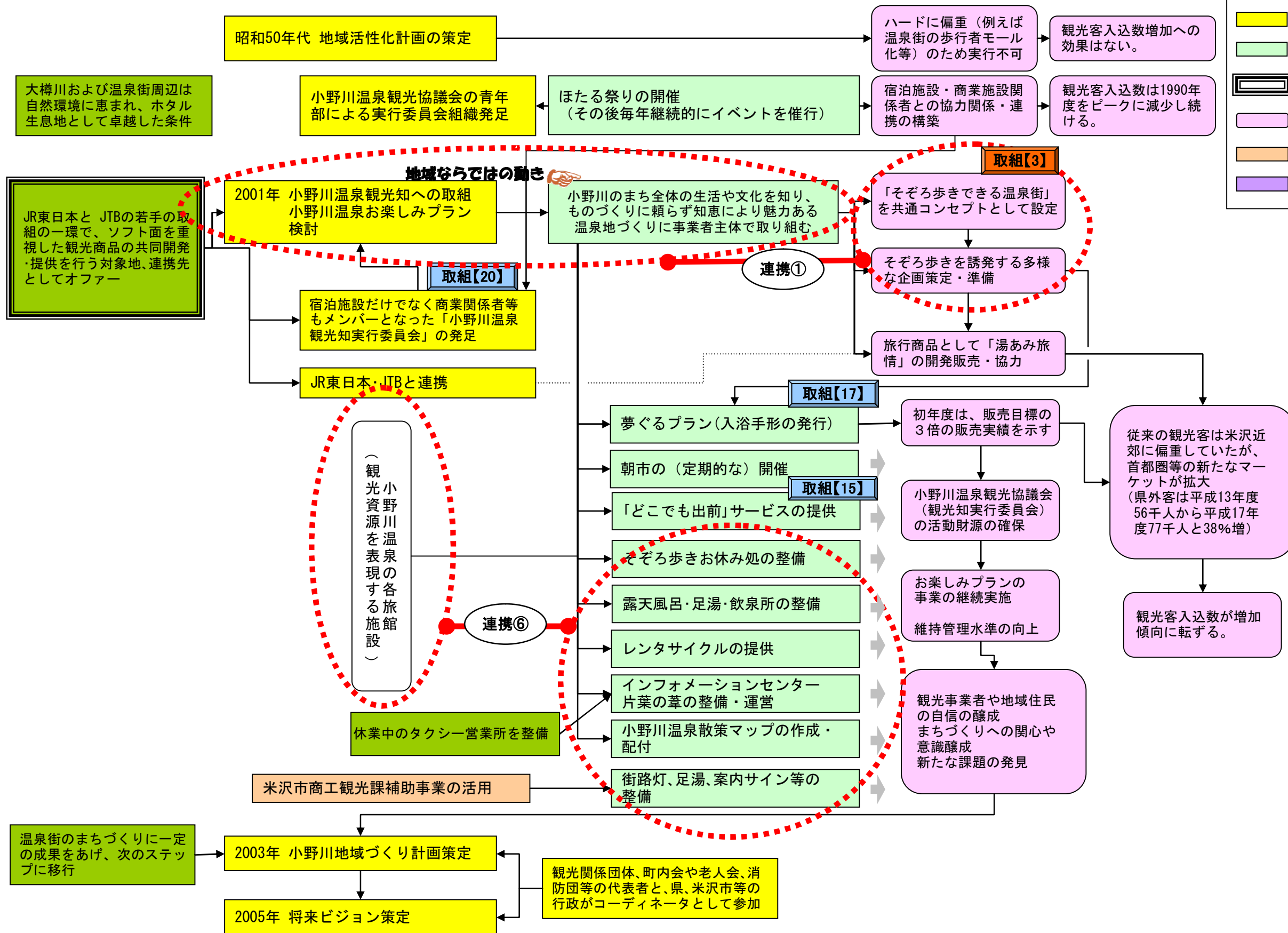


【地域のキーポイント】 ・JR、JTBと連携した短期間での地域整備 ・ハードではなくソフト中心の取組(アイデアの活用) ・地域づくりのコンセプトの共有  
 【地域の取組の流れ】 ・JR、JTBのオファーをきっかけに、ソフトを重視した取組を短期間で統一的に実施している。

## 05-小野川温泉

<凡例>

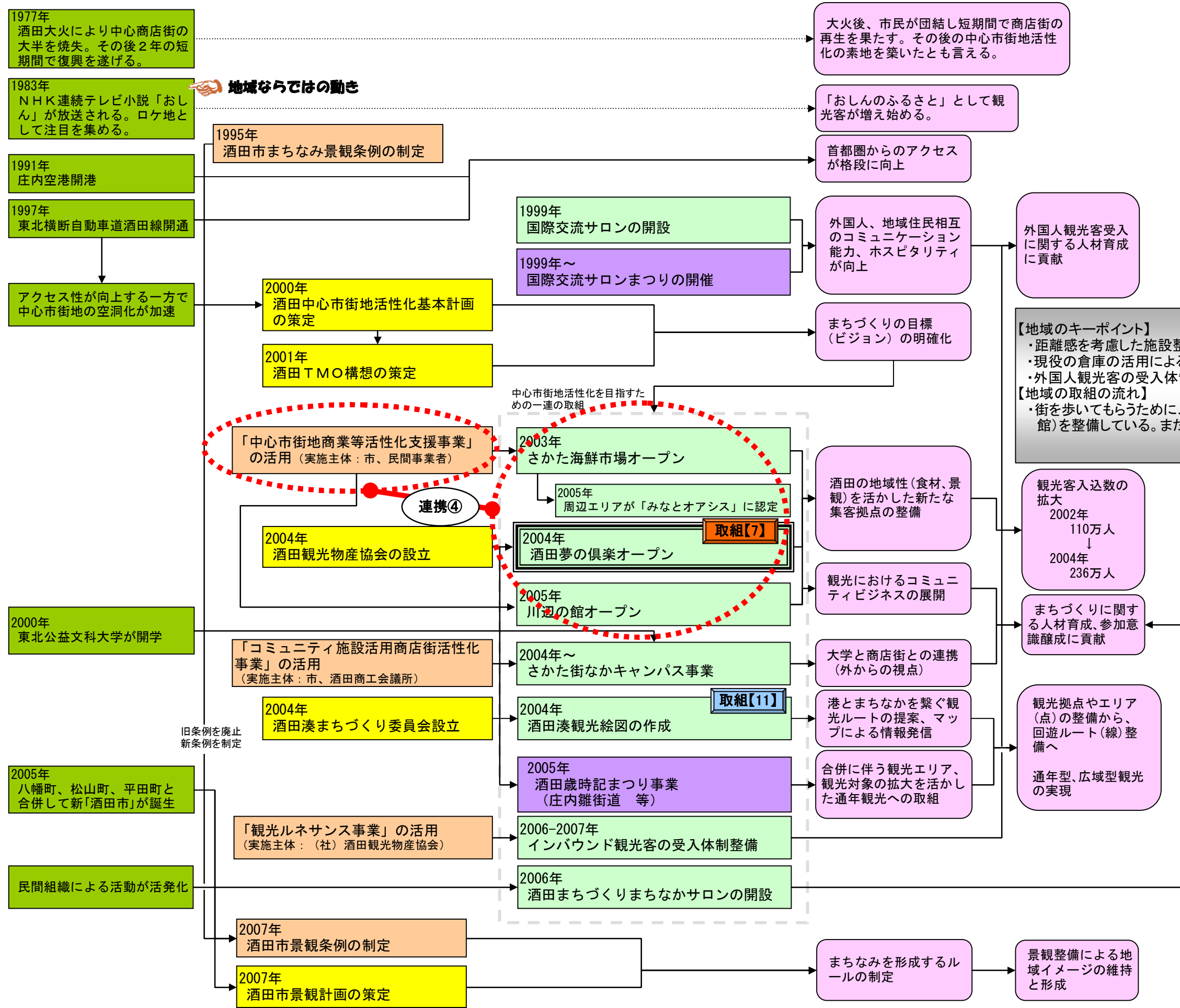
- 背景・要因
- 構想・計画
- 各種事業
- ターニングポイント
- アウトプット・アウトカム
- 制度創設・活用
- イベント等



## 06-酒田

<凡例>

- 背景・要因
- 構想・計画
- 各種事業
- ターニングポイント
- アウトプット・アウトカム
- 制度創設・活用
- イベント等



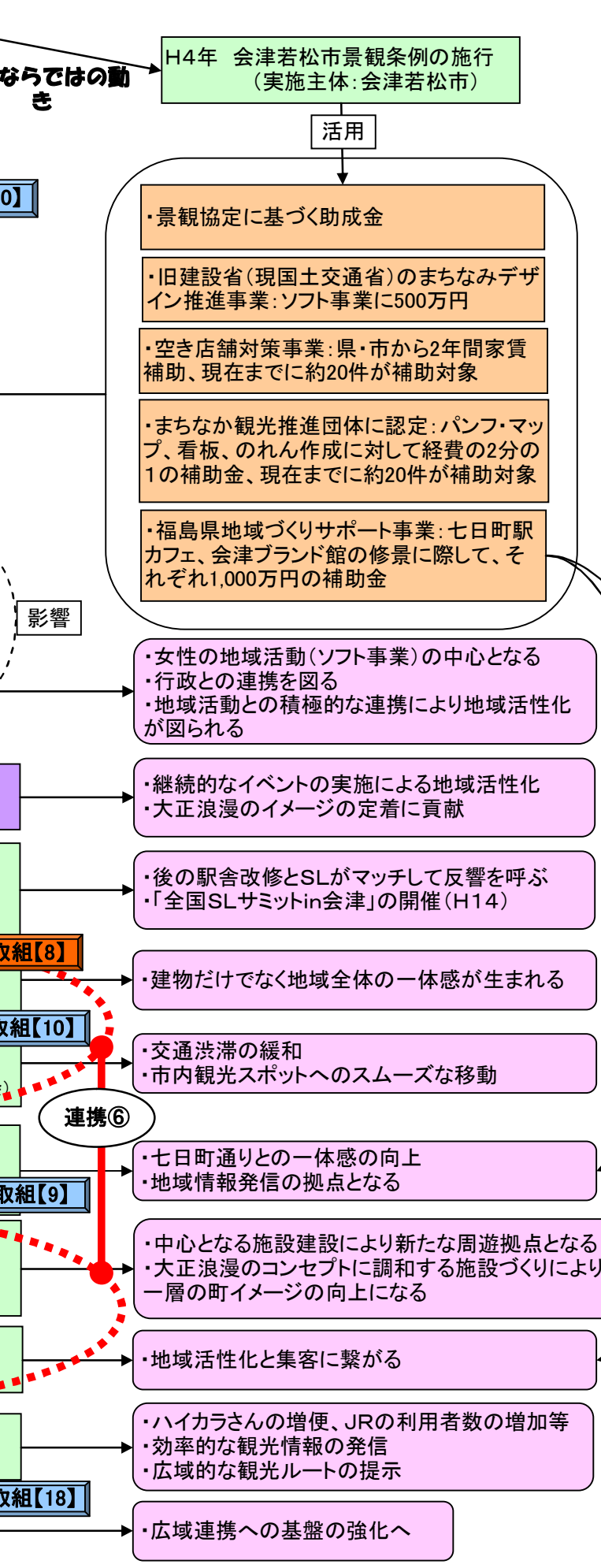
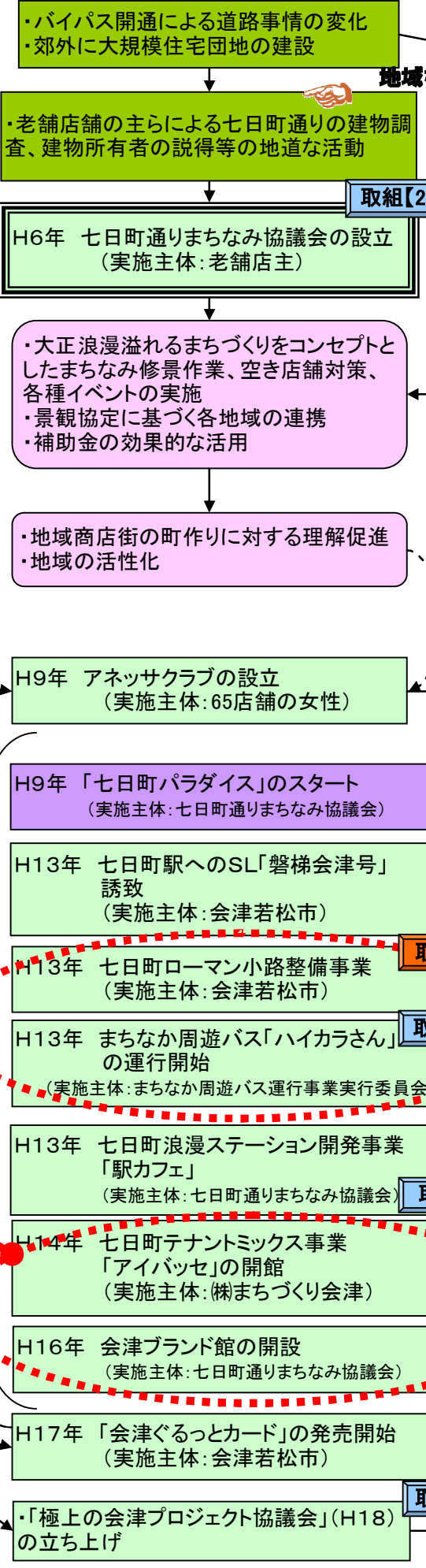
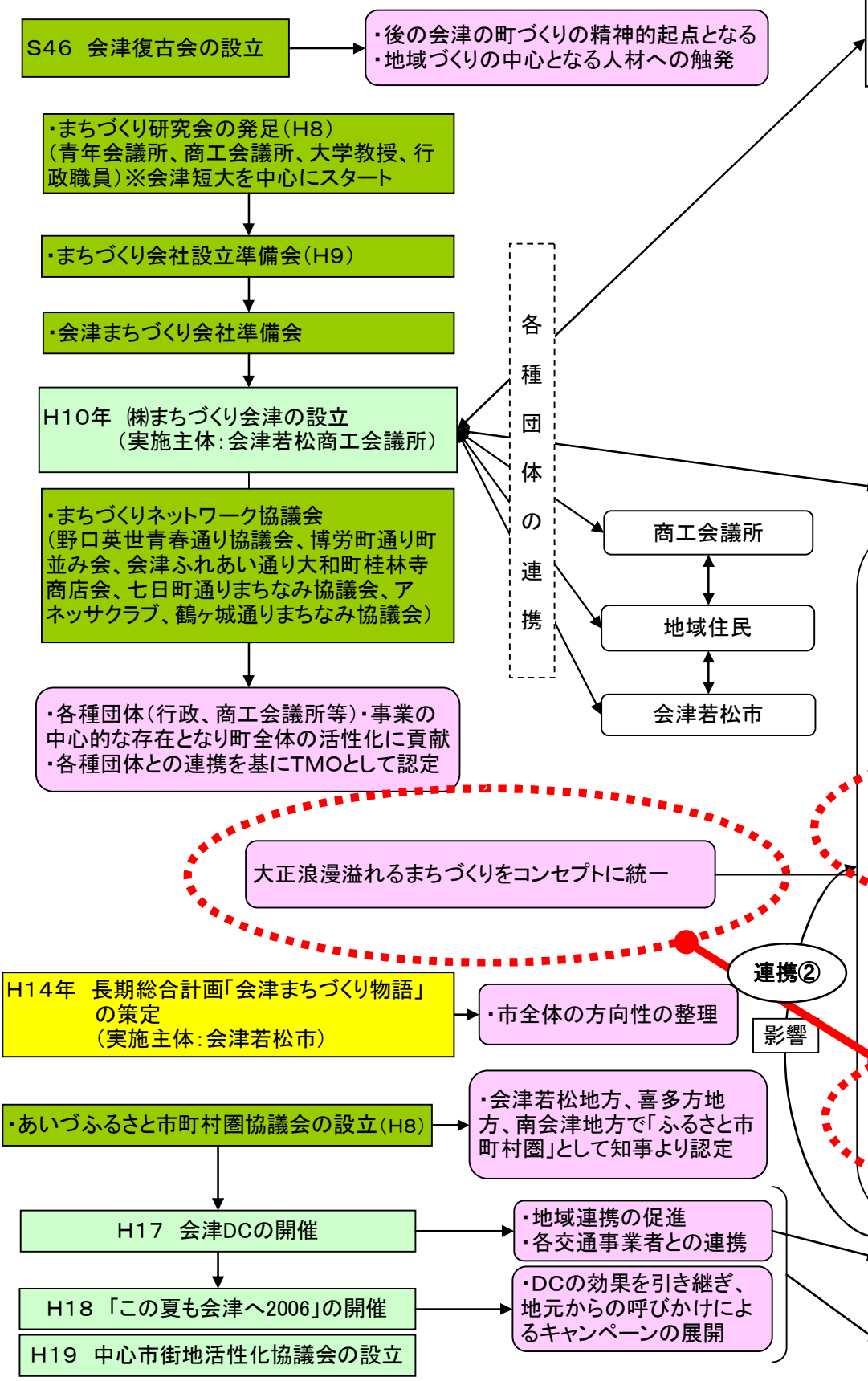


# 07-会津若松

- <凡例>
- 背景・要因
  - 構想・計画
  - 各種事業
  - ターニングポイント
  - アウトプット・アウトカム
  - 制度創設・活用
  - イベント等

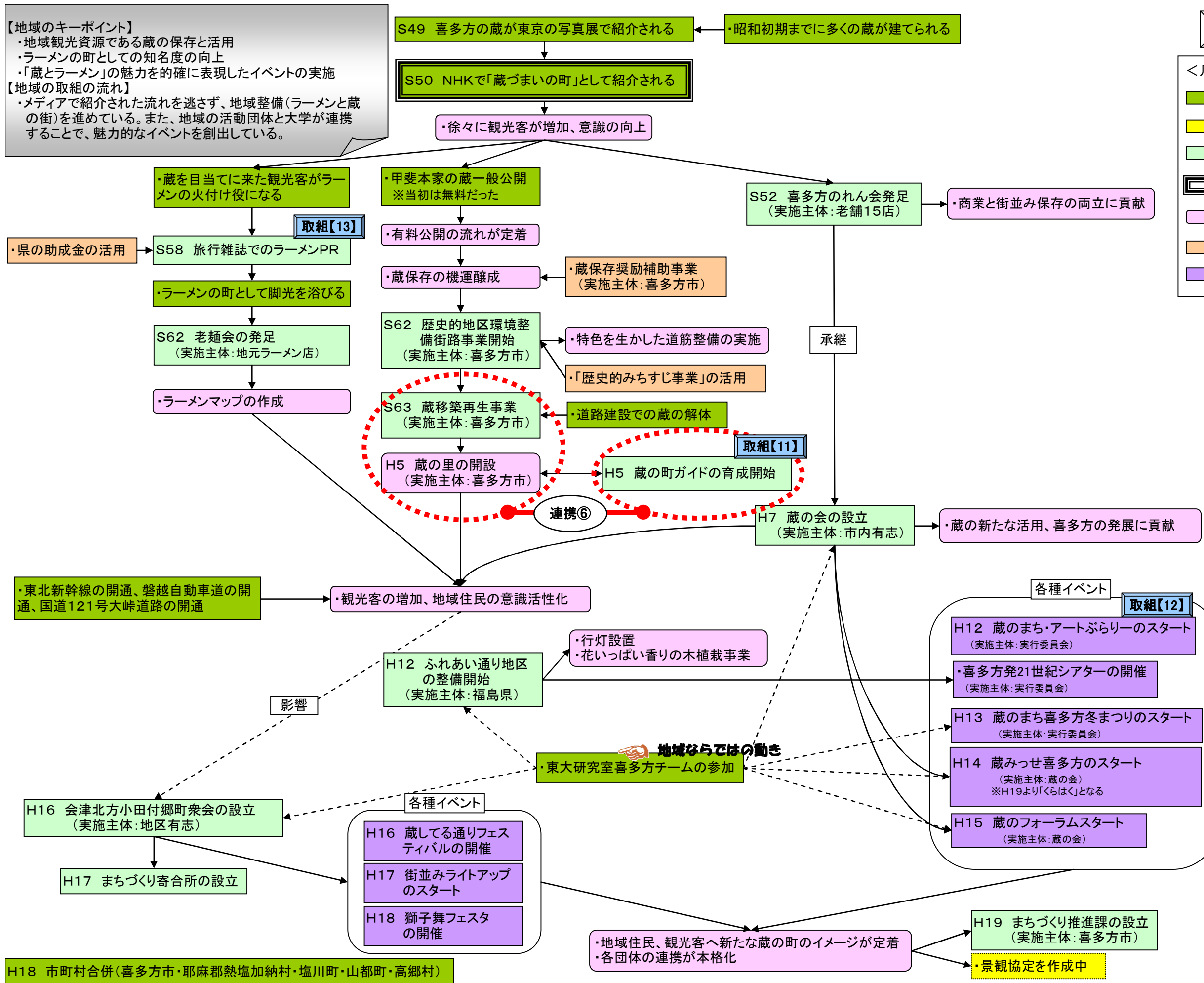
**【地域のキーポイント】**  
 ・老舗店舗の主らによる地道な活動 ・まちなみ協議会による支援制度を活用した取組  
 ・女性団体(アネッサクラブ)の活動による街作り ・コンセプトに基づいた各種事業の実施

**【地域の取組の流れ】**  
 ・老舗店主らの活動により街並み整備に関連したハード・ソフトの各種取組が進んでいる。  
 また、それに影響を受ける形で、様々な活動団体が精力的に活動している。



# 07-喜多方

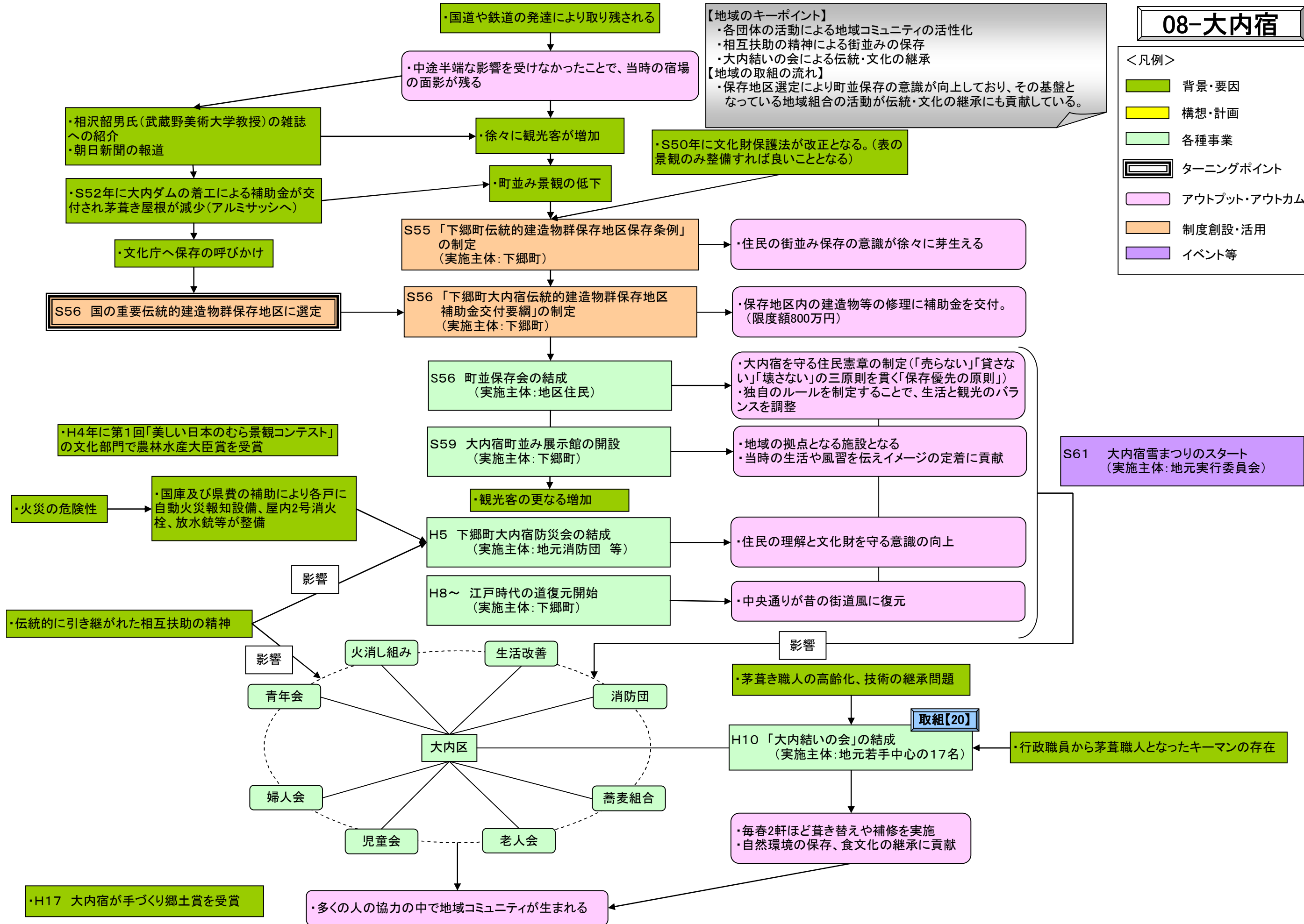
- <凡例>
- 背景・要因
  - 構想・計画
  - 各種事業
  - ターニングポイント
  - アウトプット・アウトカム
  - 制度創設・活用
  - イベント等





# 08-大内宿

- <凡例>
- 背景・要因
  - 構想・計画
  - 各種事業
  - ターニングポイント
  - アウトプット・アウトカム
  - 制度創設・活用
  - イベント等



# 09-館山・南房総

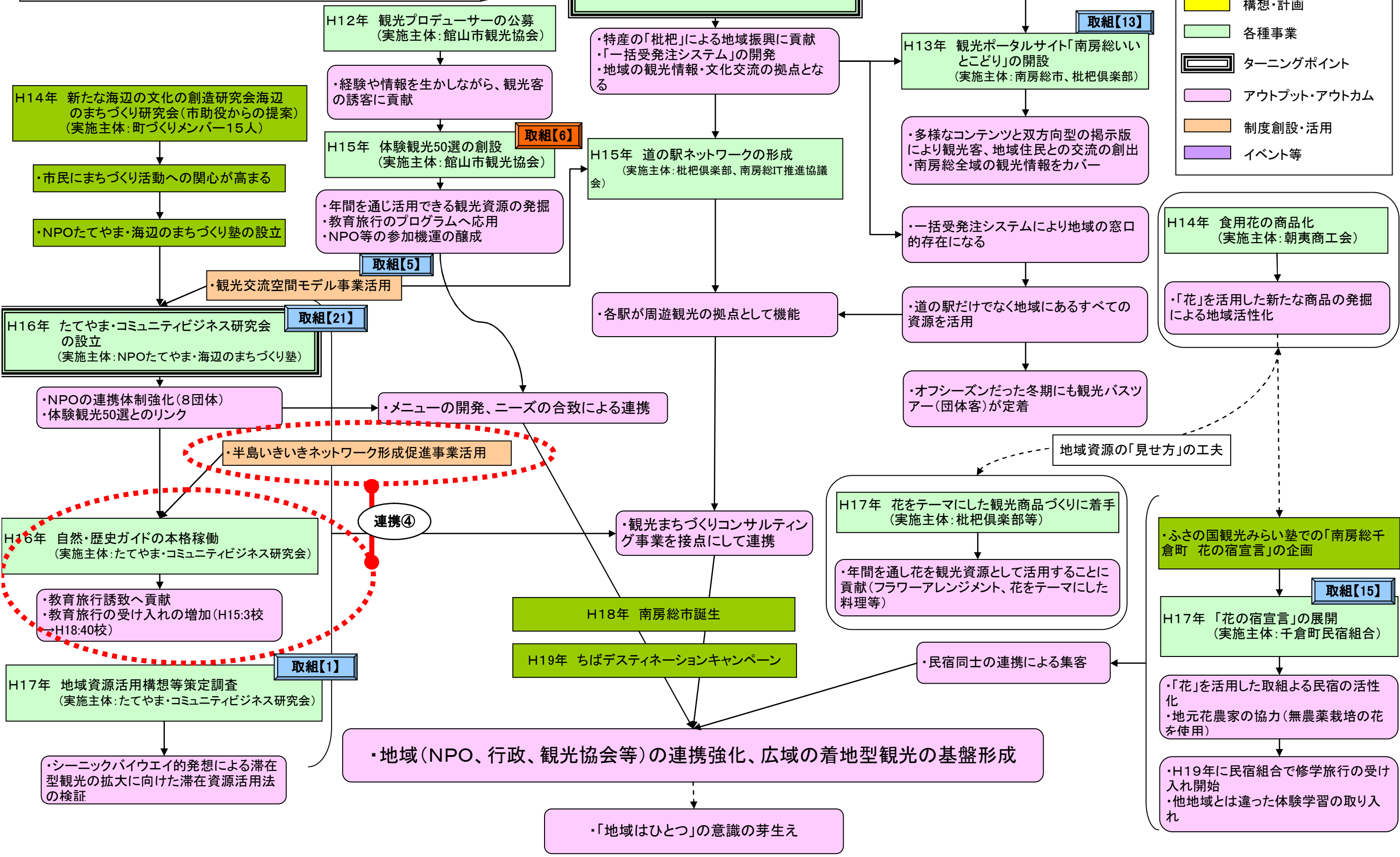
<凡例>

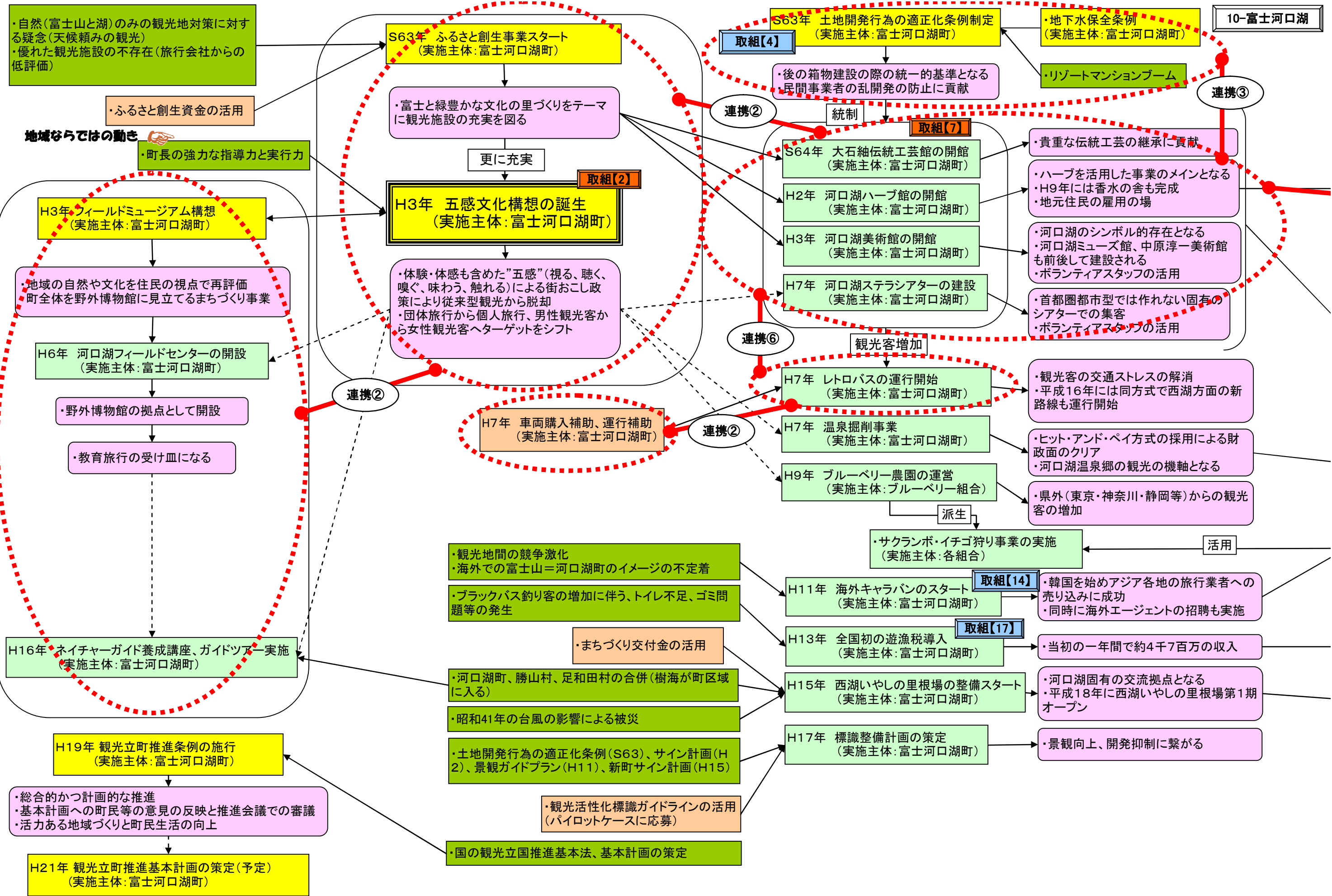
- 背景・要因
- 構想・計画
- 各種事業
- ターニングポイント
- アウトプット・アウトカム
- 制度創設・活用
- イベント等

海水浴客の減少、地域観光の衰退  
 アクアラインの開通による新たな観光拠点の必要性

【地域のキーポイント】  
 ・道の駅の連携による地域観光資源の活用 ・NPO団体の連携による体験活動の推進  
 ・民宿の連携による宿泊魅力向上

【地域の取組の流れ】  
 ・枇杷倶楽部を軸とした道の駅ネットワークを中心にNPO団体等の様々な活動が市町村合併、キャンペーンを通じて連動している。







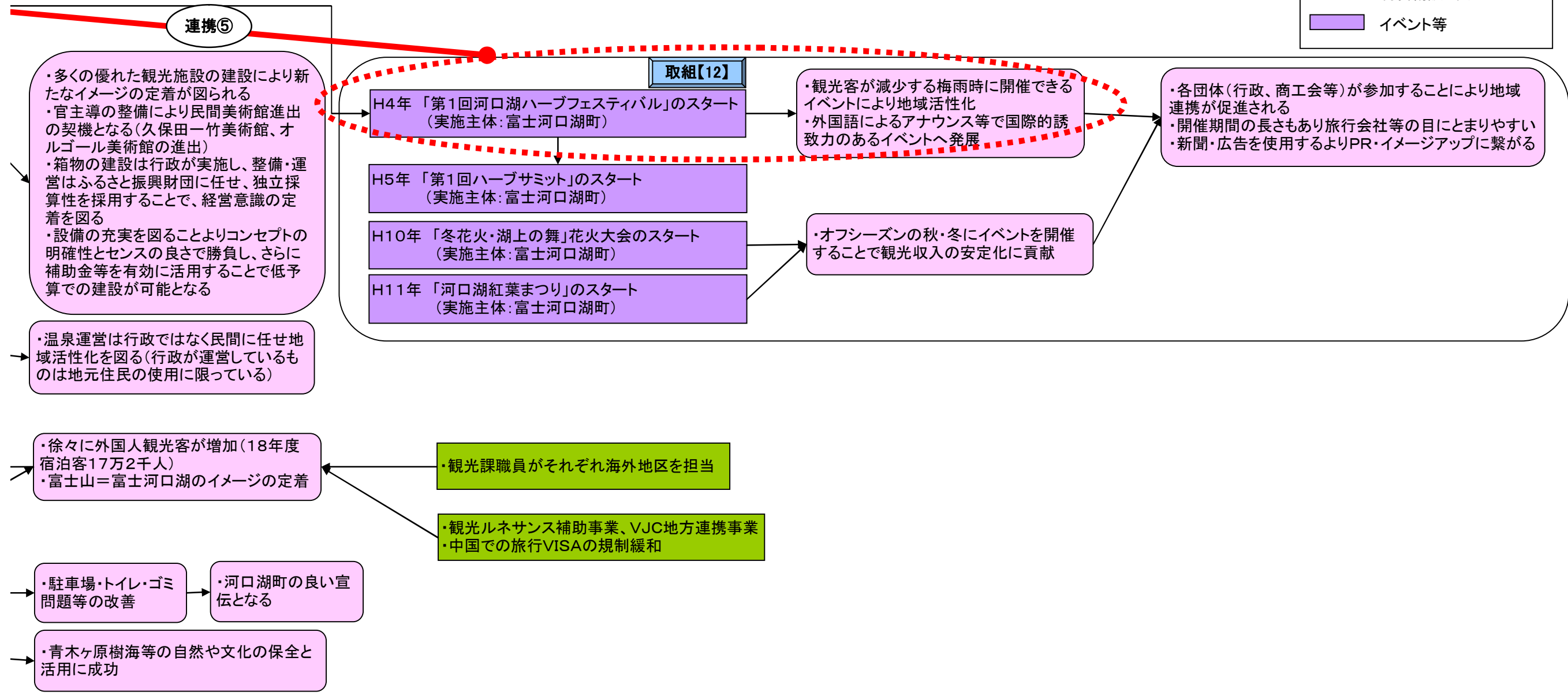
# 10-富士河口湖

<凡例>

- 背景・要因
- 構想・計画
- 各種事業
- ターニングポイント
- アウトプット・アウトカム
- 制度創設・活用
- イベント等

**【地域のキーポイント】**  
 ・行政主導による統一的な施設整備 ・施設と連動したイベントの実施  
 ・オフシーズンにも対応したイベントの実施 ・海外へのプロモーション活動

**【地域の取組の流れ】**  
 ・行政主導による施設整備や住民と連携したイベントの実施が地域の魅力を引き立てている。  
 また、観光資源である樹海を活用したガイドツアーも開発しており、様々なニーズに応えられるような観光地となっている。



【地域のキーポイント】・各種支援制度の活用による環境整備 ・外国人観光客に対応したガイドシステムの導入  
 【地域の取組の流れ】・高野山金剛峰寺の周辺環境の整備を各種支援制度を活用することで、統一的に進めている。

# 11-高野山

<凡例>

- 背景・要因
- 構想・計画
- 各種事業
- ターニングポイント
- アウトプット・アウトカム
- 制度創設・活用
- イベント等

1991年～  
近畿圏における「歴史街道」への取組

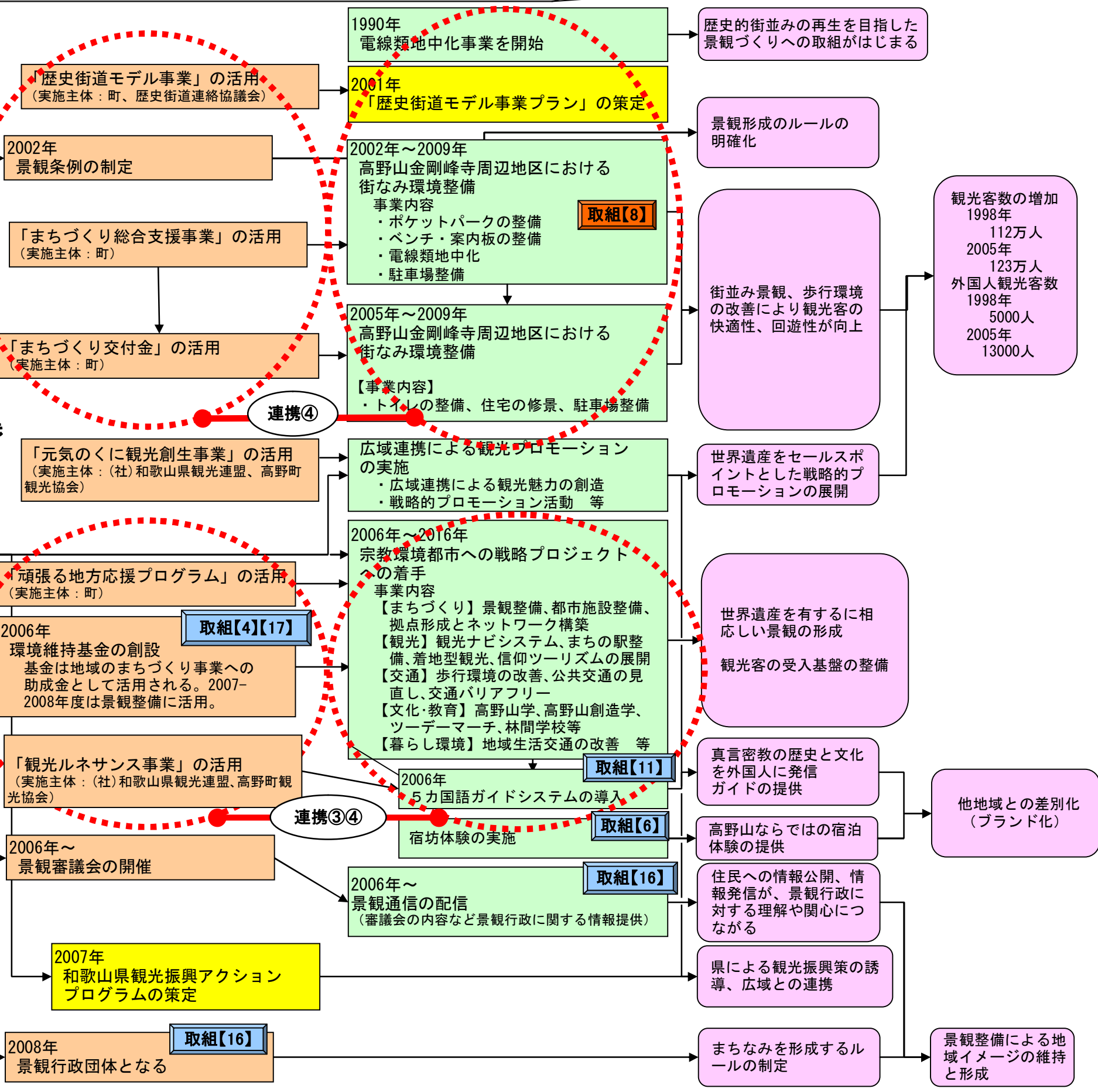
2002年  
「紀伊山地の霊場と参詣道」  
世界遺産暫定リストに搭載

世界遺産に相応しい景観  
形成が課題

2004年  
「紀伊山地の霊場と参詣道」  
世界遺産登録

観光客が増加する一方で  
観光地としての魅力やホスピタリティが不十分

## 地域ならではの動き

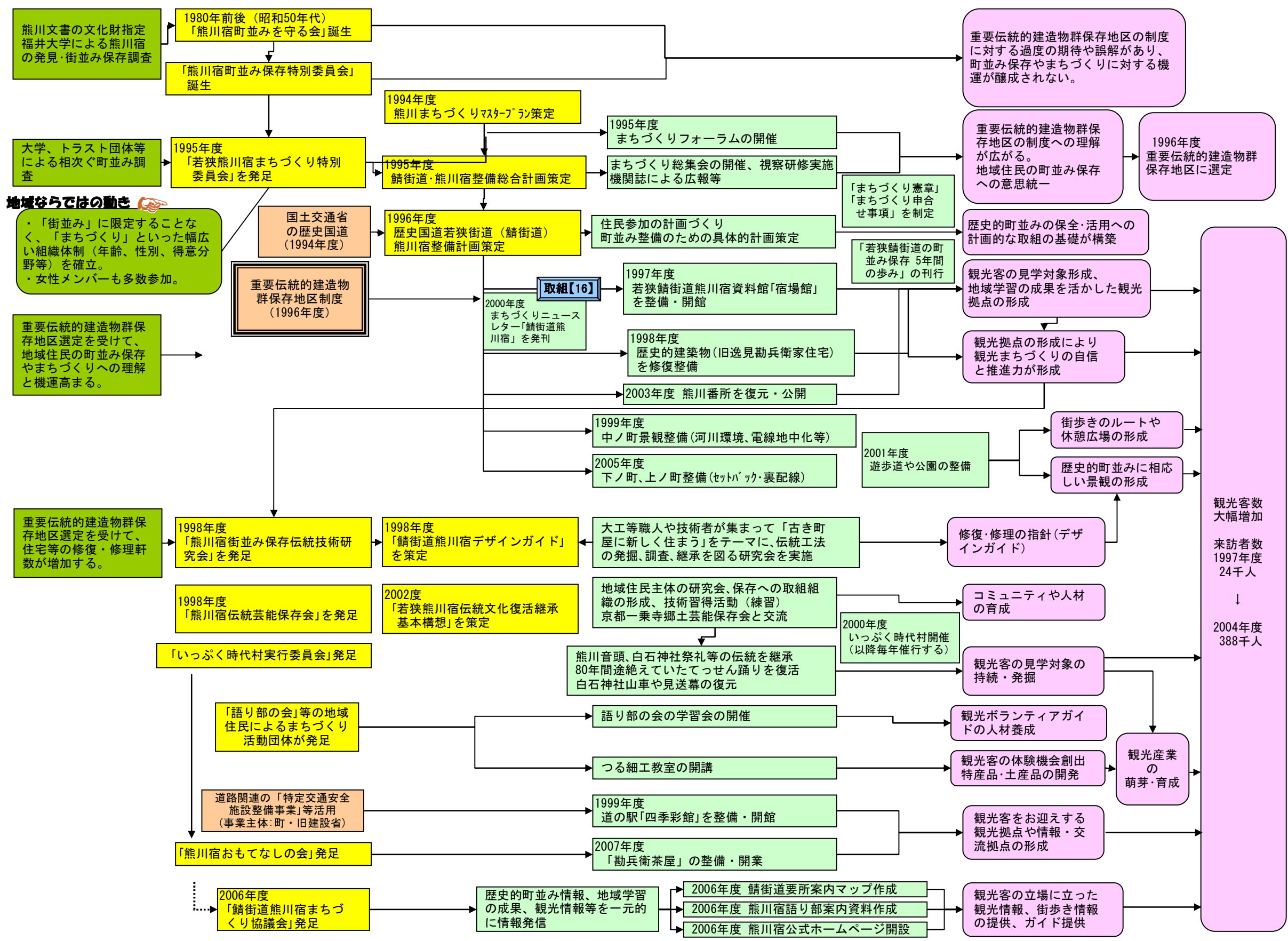


# 12-熊川宿

<凡例>

- 背景・要因
- 構想・計画
- 各種事業
- ターニングポイント
- アウトプット・アウトカム
- 制度創設・活用
- イベント等

【地域のキーポイント】 ・まちづくり特別委員会による地域づくりの推進 ・施設整備と連動した周辺環境の整備 ・人材育成と伝統文化の継承への取組  
 【地域の取組の流れ】 ・まちづくり特別委員会の活動を中心として、様々な団体が街並み整備と伝統・文化継承への取組を実施している。



**地域ならではの動き**

- ・「街並み」に限定することなく、「まちづくり」といった幅広い組織体制 (年齢、性別、得意分野等) を確立。
- ・女性メンバーも多数参加。

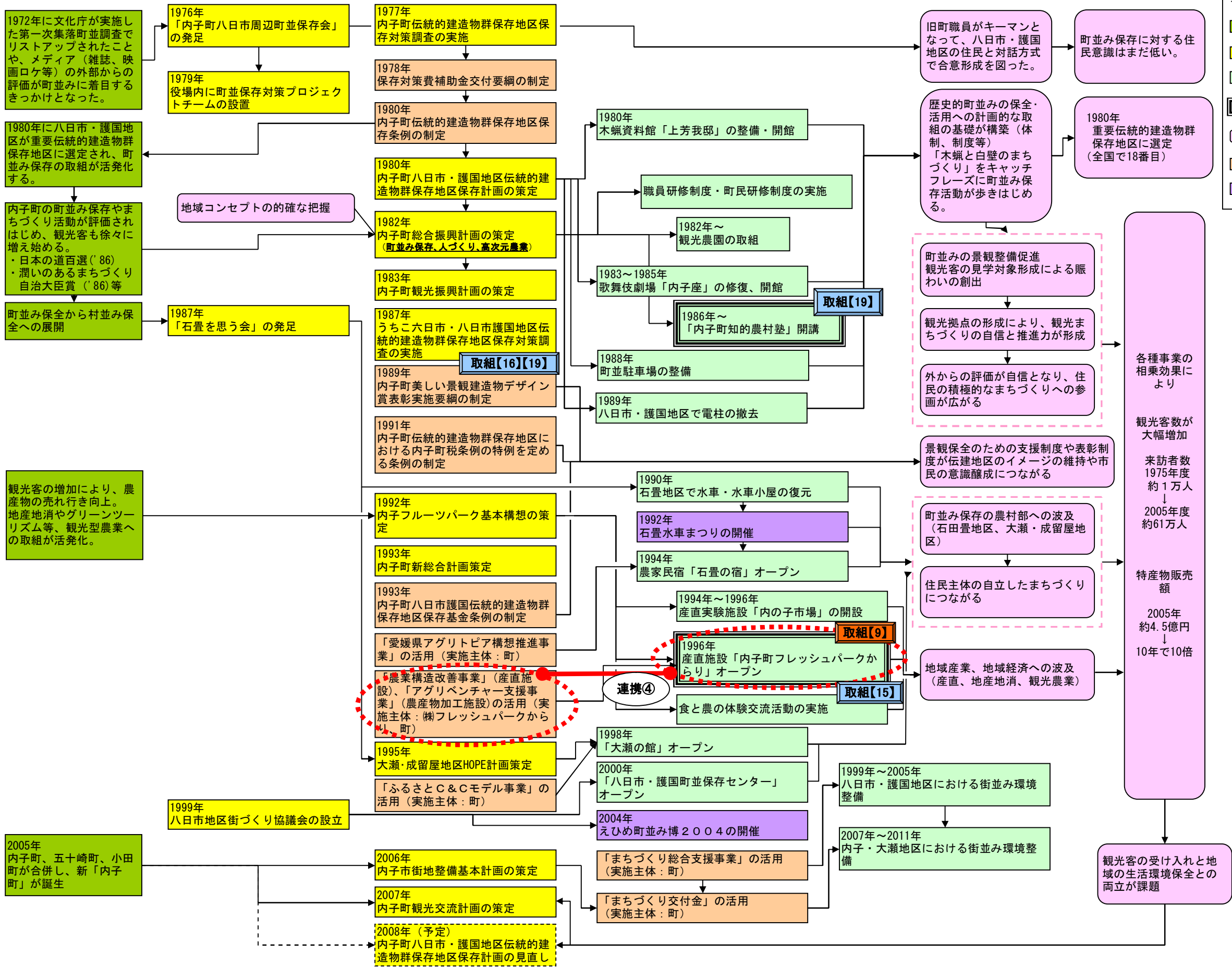


【地域のキーポイント】・地域観光資源の的確な把握(街並み保存と農業の活性化) ・街並みの保存 ・各種制度の制定による地域住民の意識の醸成 ・産直施設の運営による農家の活性化  
 【地域の取組の流れ】・地域づくりの初期段階において地域資源を的確に把握し、街並・農村整備に取り組んでいる。また、農村塾の実施による地道な人材育成が、農業活性化の基盤となっている。

### 13-内子

<凡例>

- 背景・要因
- 構想・計画
- 各種事業
- ターニングポイント
- アウトプット・アウトカム
- 制度創設・活用
- イベント等

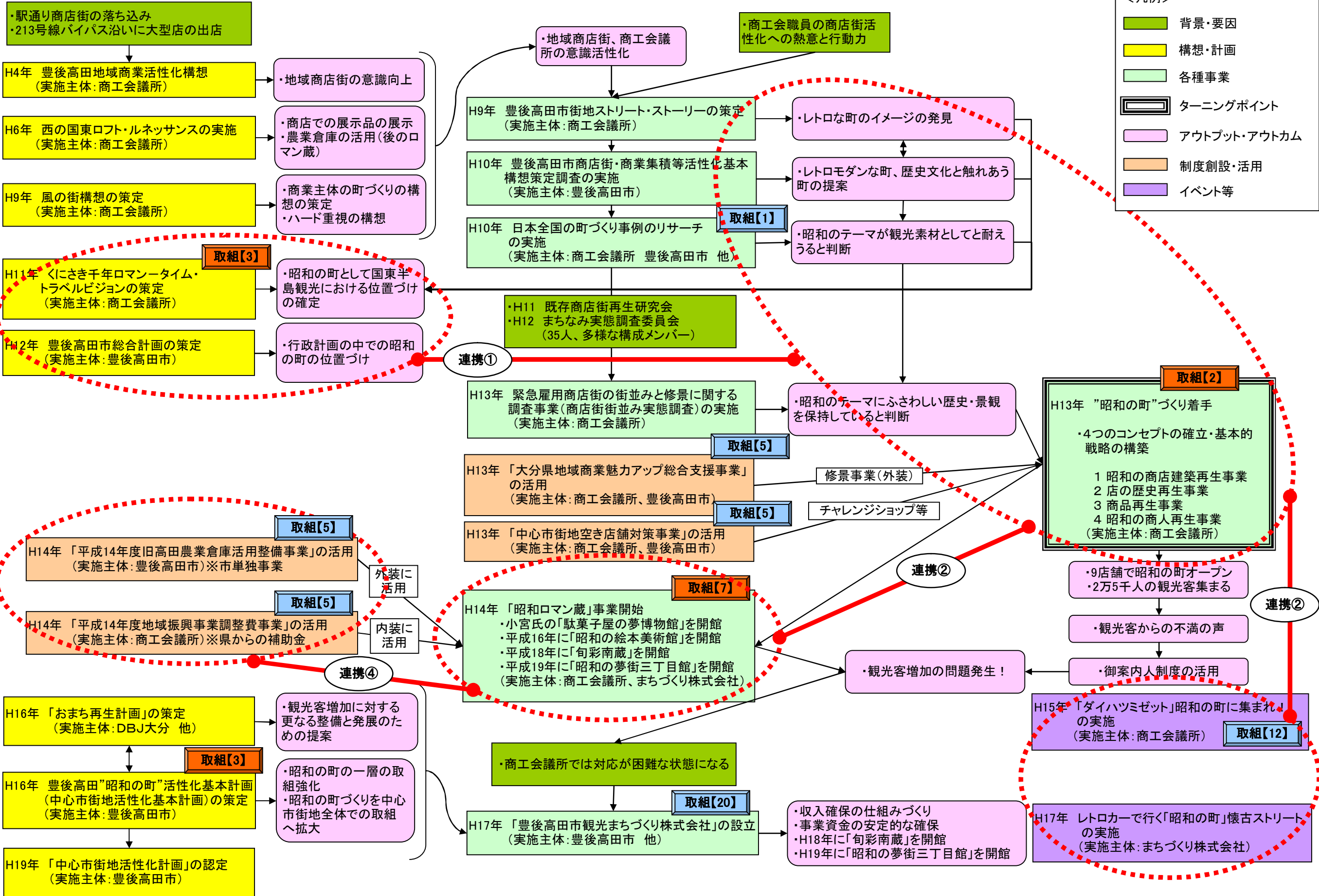


【地域のキーポイント】 ・詳細な地域現状把握 ・コンセプトに基づく各種事業の実施 ・コンセプトに基づく支援制度の活用 ・明確な目的を持った組織の設立  
 【地域の取組の流れ】 ・商店街活性化のために、詳細な調査から「昭和の町」のコンセプトを創出し、そのコンセプトに基づいて各種事業を実施している。

### 14-豊後高田

<凡例>

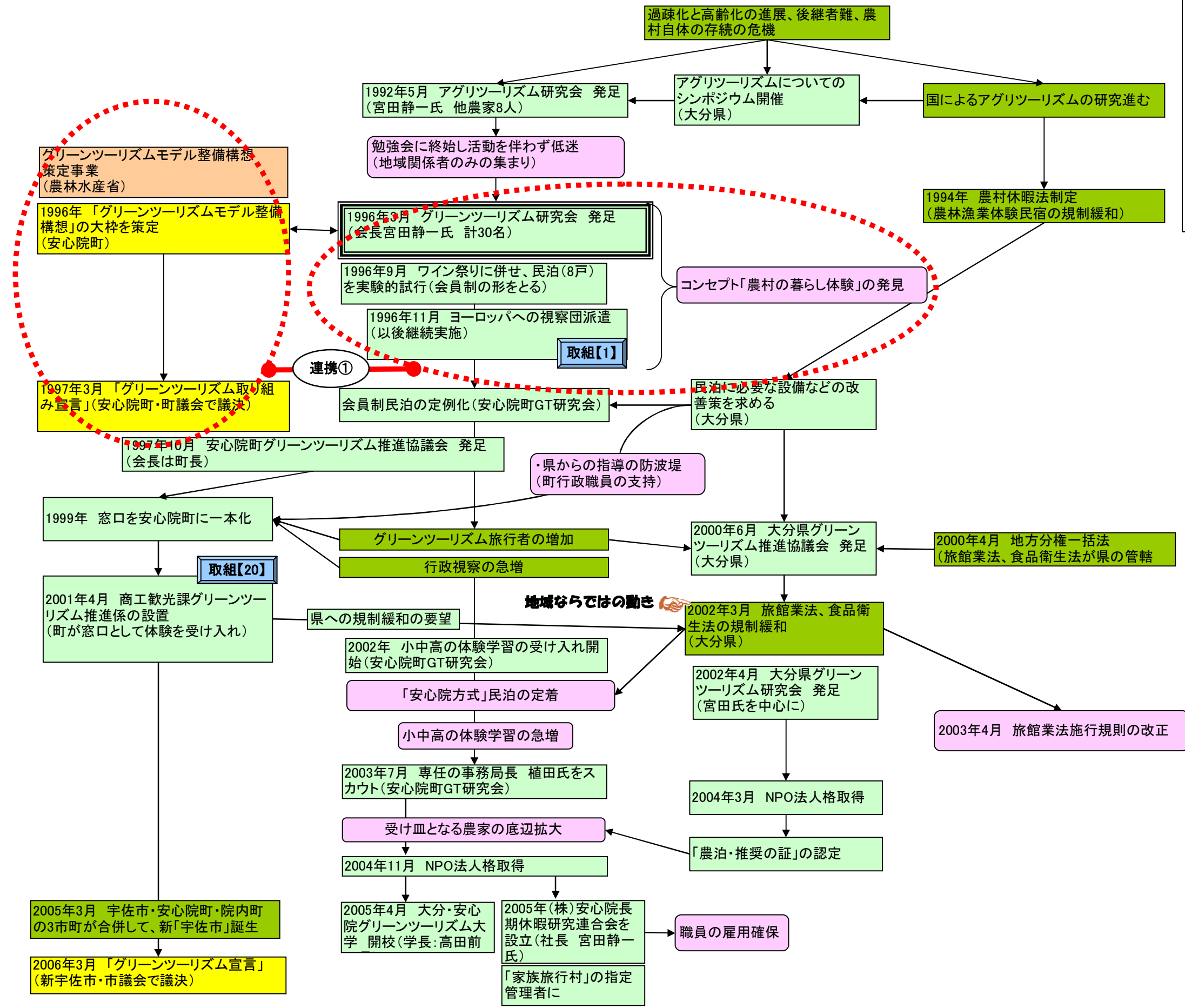
- 背景・要因
- 構想・計画
- 各種事業
- ターニングポイント
- アウトプット・アウトカム
- 制度創設・活用
- イベント等



【地域のキーポイント】・農業活性化への新たな取組(農家民泊) ・行政計画への地域コンセプトの反映 ・規制緩和による取組の推進  
 【地域の取組の流れ】・グリーンツーリズム研究会の活動が行政を動かし、安心院方式の農家民泊を定着させている。

# 15-安心院

- <凡例>
- 背景・要因
  - 構想・計画
  - 各種事業
  - ターニングポイント
  - アウトプット・アウトカム
  - 制度創設・活用
  - イベント等





【地域のキーポイント】・若手世代の登用 ・明確なコンセプトの提示 ・地域の実態に即した周辺環境の整備  
 【地域の取組の流れ】・若者への世代交代を契機に、周辺環境の整備をセンス良く実施している。また、コンセプトである「黒川一旅館」の創出により地域の連帯感がさらに向上している。

# 16-黒川温泉

- <凡例>
- 背景・要因
  - 構想・計画
  - 各種事業
  - ターニングポイント
  - アウトプット・アウトカム
  - 制度創設・活用
  - イベント等

